

<再評価>

事業名 (箇所名)	広域河川改修事業(勝浦川)	担当課 担当課長名	河川整備課 披田 毅	事業 主体	徳島県			
実施箇所	徳島市論田町新開～多家良町野上							
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業							
事業諸元	全体計画延長L=10,200m 築堤1,084,453m ³ 、掘削 623,005m ³ 、護岸 20,753m、水路3191m、樋門樋管8基、道路橋4橋、堰2基等							
事業期間	昭和11年度～令和30年度(西暦1936～2048年)							
総事業費 (億円)	105.5億円	残事業費(億円)	56.7億円					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 過去の浸水実績 ①被災頻度: S46,S47,S49,S50,S51,S54,S62,H1,H2,H3,H5,H7,H9,H10,H11,H13,H16 ②最大浸水戸数: 床上31戸、床下1285戸(昭和49年台風8号および豪雨) ③最大浸水面積: 71.3ha(昭和49年台風8号および豪雨) ・近年でも浸水被害(H16、H26)が発生している。 ・田浦堰は固定堰であり狭窄部となっている。堰撤去により河積を拡大し浸水被害の軽減を図る必要がある。</p> <p><達成すべき目標> ・河川整備計画目標規模(年超過確率1/50)の洪水を安全に流下させる。</p>							
便益の主な根拠	浸水軽減戸数: 5,690戸 浸水軽減面積: 776ha							
事業全体の投資効率性	基準年度	令和5年度						
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)	9,636.5	C:総費用(億円)	2040.9	B/C 4.7	B-C 7,596	EIRR (%)	5.8
感度分析	残事業(B/C)		全体事業(B/C)					
	残事業費(+10%~-10%)	1.1 ~ 1.3	4.7 ~ 4.7					
	残工期(+10%~-10%)	1.1 ~ 1.3	4.8 ~ 4.7					
	資産(+10%~-10%)	1.3 ~ 1.1	5.2 ~ 4.2					
事業の効果等	<p>・河川整備計画目標規模の洪水に対して、浸水家屋が解消され、氾濫面積が軽減される。 ・想定される最大クラスの降雨による浸水想定をH30年5月に作成・公表した。これにより住民の水害リスクに関する意識の向上を図った。</p>							
社会経済情勢等の変化	<p>・地域開発の状況: 流域内には徳島市の市街地化区域があり、今後も開発が進むと予想される。 ・地域の協力体制: 関係機関と連携し残区間の用地協力を求めていく。 ・地域の事業に対する社会的評価: 田浦堰下流については、築堤・護岸は完成しており、一定の治水効果を上げている。</p>							
事業の進捗状況	・昭和11年度より事業に着手し、令和4年度末で進捗率は46%(事業費ベース)である。							
事業の進捗の見込み	・関係機関と緊密に連携した情報共有や、用地買収等に関する協力体制を整えることで、事業を推進する。							
コスト縮減や代替案立案等の可能性	・設計段階では比較検討を行い、施工段階では掘削土等の有効活用することで、コスト縮減を図る。							
対応方針	継続							
対応方針理由	・度重なる浸水被害が生じている勝浦川流域の浸水対策を目的とした事業であり、現段階においても、事業の必要性及び効果性は変わっておらず引き続き事業を継続することが妥当と考える。							
その他								